

ハクセル美穂子のポリティカル・テーマ

100年先も

「いわて」が「いわて」であるように、
みんなで創る「いわて」

岩手県議会議員

ハクセル美穂子

いわて県政レポート

2019
春号

Growing
Together!
みんなで創る「いわて」

ハクセル美穂子 これまでの活動

2019年
1月

◎議会運営委員会全国調査

京都府議会と鳥取県議会において、議会改革の取組を調査しました。



鳥取県議会議事堂にて

◎防災・減災対策調査 特別委員会 全国調査

多い年で年間1000回以上噴火している桜島を擁する鹿児島市と鹿児島県の取組を調査。火山灰が絶えず降り注ぐからこそ、その影響が少ない産業を振興するなど、長い間培われてきた火山との共生について学びました。

Dreaming of the next ten years プロジェクト
「育むいわて これからのいわての10年を考えよう!」

◎第3弾 「農林業で稼ぎ続けるために」 開催!

30～40代の若手農業者と岩手でこれからは農業で稼ぎ続けるために必要な事について、意見交換。次世代農業を盛り立てる新しいアイデアが生まれました。



育むいわて県政座談会の様子

2019年
2月

◎2月定例会、始まる。

岩手県県産木材利用促進条例を議会提案。加えて、「県産木材を活用したアスレチックの普及」を陳情してくれた盛岡一高生と条例策定会議メンバーで懇談をしました。



予算総括質疑にて知事に質問をする私

Dreaming of the next ten years プロジェクト
「育むいわて これからのいわての10年を考えよう!」

◎第4弾「新しい教育、 新しい学校を考えよう」 開催!

新学習指導要領にある「生きる力」とは、次世代を生きる子どもたちが必要な教育環境とは等新しい教育、学校のあり方について、意見交換しました。現在、熱望されている教育の方向性を垣間見ることができました。

2019年
3月

◎次期総合計画 特別委員会

次の10年を考えると開催してきた「育むいわて」座談会で、皆さまから頂いたご意見をまとめ、特別委員会で執行部に対して質疑をいたしました。私たち「いわて県民クラブ」の思いを付帯意見としてつけることを条件に、計画は可決されました。今回策定された新しい「いわて県民計画」を基にして今後10年間、県の政策が進められていきます。



次期総合計画特別委員会での質問の様子

◎予算特別委員会

ウラ面アセンブリーニュースで詳しい内容をご紹介します!

県政史上最長!会期44日間の2月定例会、予算特別委員会で会派を代表し知事に総括質疑をしました!

平成31年度予算を審議する予算特別委員会、2019年度から10年間の県の政策の基盤となる総合計画を審議する次期総合計画特別委員会を含む、2月定例会が開会されました。県政史上最長となる44日間にわたる定例会でした。

今回、私は、所属する会派「いわて県民クラブ」を代表して、予算特別委員会総括質疑を担当。平成31年度予算について知事と質疑を交わしました。私の主な質問と、知事の答弁をご紹介します。

予算編成にあたってのスクラップアンドビルドについて

私の質問: 毎年、予算編成時に「選択と集中」という目標を掲げられているが、平成31年度予算編成に際して、どのような事業をスクラップし、選択・集中を進めたのか、知事のお考えを伺う。



知事の答弁: 「いわて県民計画」最終案の基本目標の実現に向けて、復興に最優先で取り組みながら、10の政策分野に基づく各分野の施策と、11のプロジェクトの取組が必要であるため、事務事業評価の活用による効果的、戦略的に事業を進めるためのスクラップアンドビルドを行いながら予算編成を行った。まず、復興の取組、保健・医療・福祉の充実を図る取組、産業振興を図る取組、ふるさと振興、地方創生関係の取組などを盛り込んだ。

県南地域以外の産業振興について

私の質問: 県南地域には大規模に整備された工業団地があり、自動車や半導体を中心に集積が進んでいるが、それ以外の地域における産業振興について、企業誘致も含めてどのようにしていく考えか伺う。

知事の答弁: 県央地域では、IT関連産業の集積やヘルスケア関連産業の活発化、沿岸地域では、交通や港湾の利便性向上による物流関連企業等の進出、県北地域では、豊かな農林水産資源を活用する食品関連企業の立地等が進んでいるところであり、引き続き、地域特性を生かした企業誘致・産業振興に取り組む。

DV被害への対応策について

私の質問: DV(配偶者等に対する暴力)被害者の適切な保護と相談体制、安全確保体制の充実を図るためには市町村等との情報共有や連携体制の構築は必要不可欠と考えるが、今後どのように取り組むのか。

知事の答弁: 今後、市町村相談担当者等の資質向上に向けた研修の充実や、配偶者暴力相談支

援センターごとに設置している市町村、関係機関との連絡会議における情報共有と連携体制の強化を図るなど、配偶者等からの暴力を防ぐ環境づくりや被害者の自立支援に努めていく。また、市町村等と日常的に各行政分野において、会議や研修等を通じた緊密な情報共有や意見交換を行うとともに、高い専門性が求められる分野での助言を行っているほか、県職員と市町村職員との相互理解と資質向上を図るための人事交流等により、県と市町村との連携体制を強化してきた。今後とも、より質の高い住民サービスが提供されるよう県と市町村との一層の情報共有や連携を重視し、県政を推進していく。

予算総括質疑を終えて

私が考えるこれからの県の役割の中で最も重要なことは、県が、市町村そのほか関係機関・団体との連携のハブとなり、各種事業に関して連携し、支援体制を充実させることだと考えています。今後、人口減少がさらに進めば、市町村単体で運営することが難しくなる事業が増えていくと予想されます。そうなれば、複数の市町村が連携して一つの事業を行っていくなくてはなりません。そういった際に、最も重要な連携の要となるのが、広域振興局をはじめとした県庁の働きです。また、DVシェルターのように岩手県内で一つしかない施設をどこに住んでいても適切に利用する事ができるような協働の体制を強化していかなければなりません。

私は、今後も引き続き、県民の皆さんが必要とする行政サービスが適切に受けられる体制の充実を図るために、さらなる議会活動に取り組んでいきます。

2019春号コラム COLUMN

ハクセル美穂子の公約 「子育て支援の充実」がさらに進みます!

前回レポートでお知らせした「県庁内保育所の設置」に引き続き、子育て支援の一環として当選当時から訴え続けてきた「病児保育の広域化」に関して、盛岡市・矢巾町・滝沢市の3市町で、病児保育事業の広域連携に関する協定が結ばれます。

病児保育事業は、基本的に市町村が行う事業ですが、県民が、県内どこに住んでいても必要な保育サービスを適切に使用できる環境の整備が必要不可欠であるとの思いから、私は、県に対して、病児保育事業の広域化を促進するための情報共有の場の設定等、市町村に対する積極的な支援を行うよう訴え続けてきました。

その結果、今年度から盛岡市・滝沢市・矢巾町の3市町が連携協定を締結し、病児保育事業が広域的に運用されることとなりました。盛岡市を3市町が連携する今回の協定は、他市町村への普及効果も大きく、今回の連携協定を通じて、岩手県内に安心して子育てができる環境整備が普及拡大していくよう引き続き働きかけていきます!



子どもたちの病気やケガは予測不可能。いつもハラハラドキドキでした。

～病児保育の広域連携が一步前進～

これまで
住んでいる市町村以外の施設では、病児保育サービスを受けづらいという課題がありました(;-_-)

ハクセル美穂子、当選以来、岩手県に状況改善を訴え続けてきました。結果!

平成31年より
盛岡市・滝沢市・矢巾町で協定が結ばれ、3市町内のどの病児保育施設も同じように利用できるようになりました(^_^)

ハクセル美穂子プロフィール

昭和50年3月6日 雫石町生まれ
家族/アメリカ人の夫、4人の息子(中1、小5、小4、小1)
職業/英会話教室経営
趣味/読書、フラワーアレンジメント、散歩、博物館めぐり
学歴/雫石町立御明神小学校[S62卒]・雫石町立雫石中学校[H2卒]・盛岡第四高等学校[H5卒]・岩手大学農学部[H9卒]
経歴/平成9年 雫石町役場入庁
平成17年 夫とともにアメリカへ移る
平成18年 (株)Shady Grove Intl設立 代表取締役就任
平成27年 岩手県議会議員選挙滝沢選挙区初当選

f ハクセル美穂子オフィシャルFacebook
<https://www.facebook.com/mihokopage/>

